



〈表紙写真〉

【古宇利大橋から望む風景】  
(沖縄本島北部)

沖縄本島北部にある屋我地島と古宇利島を結ぶ古宇利大橋。

その橋から周囲を見渡せば、エメラルドグリーン色の美しい海を望むことができます。

波が穏やかであることから、海中で泳ぐ魚を橋の上から見ることもできれば、ヤンバルと呼ばれる沖縄本島北部の山々を遠くに望むこともできるので、人気の観光スポットとなっています。

訪れるのであれば、海の色がより鮮明になる晴れた日がお勧めです。

# Muribushi

群星  
【むりぶし】

C O N T E N T S

## 特集

01

地域の目【私の考える沖縄振興】農業生産法人(有)水耕八重岳 代表取締役／渡久地 政行

02

総務部 持続可能な沖縄観光の推進方策検討調査

04

経済産業部 社会に生きる技術と学校の出会いを創るキャリア教育

## 仕事の窓

06

仕事の窓① 総務部 沖縄振興功績者表彰

07

仕事の窓② 経済産業部 JAPANブランド育成支援事業に  
沖縄管内から2件が採択

08

仕事の窓③ 財務部 貸金業法が大きく変わりました！

10

仕事の窓④ 財務部 管内経済情勢報告

12

仕事の窓⑤ 経済産業部 中小企業の高度・専門的な経営課題を  
解決する中小企業応援センターがスタート

13

仕事の窓⑥ 運輸部 プレジャーボート等小型船舶に対する  
安全キャンペーンを実施

## 局の動き

14

総務部 「平成22年度 第1回沖縄振興講演会」を開催  
沖縄地区における「独占禁止政策協力委員会議」を開催

15

財務部 「改正貸金業法」完全施行に伴う説明会を開催  
農林水産部 土地改良総合事務所石垣支所の開設

16

開発建設部 「まるごと沖縄クリーンビーチ2010」オープニングセレモニーを開催

17

運輸部 「沖縄本島地域におけるタクシー事業の適正化及び活性化を推進  
するための地域計画」を作成

18

運輸部 平成22年度陸運関係功労者沖縄総合事務局長表彰  
平成22年度陸運関係功労者陸運事務所長表彰を開催

18

なかゆくい ※シリーズ②  
ーアツイ!真夏のダムイベントー

20

内閣府だより 8月、「アジア青年の家2010」を実施します  
「かりゆしウェア」の普及・促進について

21

お知らせ

## 沖縄の通貨 あれこれ!

#1



## 今回から6回に亘り、沖縄にかかわるお金(通貨)のミニ知識を掲載します。

沖縄では、戦後の米軍統治下から日本復帰までの27年間に、実に7回の通貨変更がありました。今回は、戦後沖縄の通貨変遷と今では見られなくなったB型軍票(通称「B円」)を中心に紹介します。

終戦後、30万人を超える住民が収容所で米軍の配給による生活を行っていた時期は、一部地域を除き、金銭取引が一切禁止された無通貨時代であり、県民は物々交換等による生活を余儀なくされました。

1946年4月に、各住民が所有している旧円(旧日本銀行券)、朝鮮銀行券、台湾銀行券が法定通貨であるB円、新円(新日本銀行券)、証紙付旧円などと等価交換され、通貨経済が復活しました。この時期、旧円を含む四種類の通貨が流通していましたが、主役はB円でした。

その後、B円は使用を禁止され、新円のみを法定通貨とする時期があったものの、47年に法定通貨に再指定(新円との二本立て通貨制)され、48年7月には唯一の法定通貨となり、58年のドル交換まで約10年間に亘り広く県民に使用されました。

B円は全部で8種類(千円、百円、二十円、十円、五円、五十銭、十銭)、硬貨はなく、すべて紙幣でした。デザインは肖像や風景などの具象的なものではなく、彩文模様であり、真ん中に「B」と書かれていることからB円と呼ばれるようになりました。現在の紙幣とは比べるまでもなく、印刷は粗悪なもので、特に赤インクで印刷された十銭札などは、ポケットに入れたまま洗濯でめしやうものなら、たちまち白いシャツが台無しになったようです。なお、A円券も存在し、3か月間ですが、基地内のみで流通していました。



「B100円」

★本誌タイトルについて★

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昴星(すばる)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれています。